

NCHソフトウェア

Express Zip ファイル圧縮ソフト

このマニュアルは以下の製品用に作成されています：

Express Zip ファイル圧縮ソフト バージョン10.xx

テクニカル サポート

Express Zip

ファイル圧縮ソフト操作中に問題が起こった場合は、サポートへ連絡する前に、該当するトピックをお読みください。このユーザーガイドに問題が見つからない場合は、

www.nchsoftware.com/zip/jp/support.html にて、最新のExpress Zip

ファイル圧縮ソフト

オンラインテクニカルサポートをご覧ください。それでも問題が解決されない場合は、そのページに記載されているテクニカルサポートまで連絡してください。

ソフトウェアの提案

Express Zip

ファイル圧縮ソフトの改善策または、必要な関連するソフトウェアへの提案がございましたら、www.nch.com.au の提案ページに書き込んでください。当社のソフトウェアプロジェクトの多くは、ユーザーからの提案によって行われています。お客様の提案が採用された場合、アップグレード版を無料で提供いたします。

Express Zip ファイル圧縮ソフト

目次

はじめに.....	2
基本的な使い方.....	3
アーカイブとは？.....	4
Zipアーカイブを作成する.....	5
アーカイブを管理する.....	6
既存のアーカイブを展開する.....	7
分割Zipアーカイブの作業.....	9
アーカイブを電子メール送信する.....	10
電子メール設定.....	11
Zip/7zip/Tar/Tgz/Wim/Arj/Lzhアーカイブに変換.....	13
新しい自動展開Zipアーカイブを作成.....	14
クイックZipメニュー.....	15
暗号化.....	16
ファイル/フォルダ.....	17
ファイル/フォルダ.....	18
PAR2ツールを使う.....	19
Prism/Pixillion/Switchを使って圧縮.....	20
ショートカットキー一覧.....	21
オプション`全般.....	22
オプション`対応ファイル.....	23
オプション`その他.....	24
コマンドラインオプション.....	26
その他のソフトウェア.....	27
NCH ソフトウェア総合パッケージ.....	28
ソフトウェアライセンス規約.....	29
Windows XPおよびVistaでのGoogle認証プロセス.....	31

はじめに

Express Zipをインストールいただき、ありがとうございます。

Express

Zipはzipファイルを作成、管理、展開するアーカイブおよび圧縮ソフトです。

Express Zipは大切な文書、画像、音楽等のzip

ファイルを簡単に作成し、ディスク容量の節約や、素早い電子メール送信、CDへの書き込みなどに役立てることが出来ます。

主な機能：

- zipファイルを素早く作成
- 既存のzipファイルを編集・抽出
- ボタン2つでzipファイルを素早く電子メール送信
- 長期バックアップ用にアーカイブをディスクに書き込み
- シンプルでパワフルなユーザーインターフェイス

動作環境

- Windows XP/Vista/7/8/10/11

基本的な使い方

Express Zipを使ったアーカイブの作成や展開はとても簡単です。

Zipファイルを作成する

- Express Zipを起動する
- ツールバーの「ファイル」または「フォルダ」ボタンをクリックして圧縮するファイルをアーカイブに追加します。
- また、ファイルエクスプローラまたはデスクトップでファイルやフォルダを右クリックし「Express Zip」を選択して「圧縮」オプションを選択します。

既存のアーカイブファイルを開く

- Express Zipを起動する
- 「開く」ボタンをクリックし展開するファイルを指定します。ファイルを開くと圧縮ファイルの中身がブラウザに表示されます。
- またはファイルエクスプローラ（もしくはデスクトップ）で圧縮ファイルを右クリックし、「ExpressZip」から「展開」を選択する形でも展開することができます。

アーカイブとは？

アーカイブファイルとは？

アーカイブファイルとは、コンピュータ間の移動を簡単にするために、様々なファイルやフォルダを1つにまとめたもののことです。多くの場合バックアップ用に使われるため、「アーカイブ(保管)」という名称で呼ばれるようになりました。また、アーカイブファイルはディスク容量やネットワークの帯域幅を節約するための圧縮にも使われてきました。圧縮されたアーカイブは、中身のファイルを使用する前に展開する必要があります。

アーカイブの中で最も多く使われているタイプが、Express Zipが対応しているzipファイルと呼ばれるものです(.zipの拡張子が付いているファイル)。

Express Zipが対応しているファイル形式は以下のとおりです：

- .zip
- .jar
- .rar
- .tar
- .gz
- .tgz/.tar.gz
- .7z
- .bz2
- .xz
- .wim
- .zipx
- .pkpass
- .bkz
- .arj
- .lzh
- .cab
- .iso
- .apk
- .nco
- .z
- .img
- .dmg
- .cpio
- .deb
- .qcow2
- .rpm
- .txz
- .vhd
- .vmdk
- .xar
- .zab

Zipアーカイブを作成する

Express Zipを使ったzipアーカイブの作成は様々な方法で行うことができます。
Express

Zipを起動すると空のzipファイルが開き、すぐにファイルやフォルダの追加を始めることができます。**フォルダ**または**ファイル**をツールバーまたはファイルメニューから選んでクリックすると、ツールバー下のアドレスバーで指定された場所にExpress Zipが自動的にzipファイルを作成し、ファイルを追加することにzipファイルがアップデートされます。

また、ファイルエクスプローラまたはデスクトップからZipファイルを作成することもできます。フォルダやファイルを右クリックするとショートカットメニューが表示されます。ここからExpressZipを選択し、サブメニューの「圧縮」を選択するとExpressZipが起動し、選択したファイルが自動的に新しいZipアーカイブに追加されます。その後はExpress

Zipを使って通常通りフォルダやファイルの追加を行うことができます。

ファイルエクスプローラ画面やデスクトップからExpress Zip内へドラッグする形でアイテムを追加することも可能です。

アーカイブを管理する

前頁でご説明した方法でzipアーカイブを作成後は、以下のような作業を行いアーカイブを管理します。

フォルダやファイルを削除する：不要なフォルダやファイルの削除は、エクスプローラ（左画面）またはファイル一覧（右画面）で当該ファイルを選択し**削除**

ボタンをツールバーでクリック、または **削除**を編集ニューから選んでクリックすることで行います。もしくは、単純にファイルを選択しキーボードの **Delete**キーを押します。メモ：Express

Zipのルート（最上階層）フォルダを削除することはできません。

フォルダを移動する：Express

Zipエクスプローラ画面を使いフォルダを別の場所へ移動することができます。移動するファイルをクリックし移動先へドラッグしてください。メモ：ルート（最上階層）フォルダを移動することはできません。また、親フォルダをそのサブフォルダ内に移動することもできません。

フォルダの名前を変更する：Express

Zipエクスプローラ画面を使いフォルダの名前を変更することができます。名前を変更するフォルダを選択し**名前を変更**を編集ニューから選びます。また、エクスプローラ画面でファイル名をクリックする形で変更することも可能です。

フォルダまたはファイルを挿入する：挿入したいフォルダやファイルがアーカイブ内にある場合は**ファイル/フォルダボタン（Ctrl + T/Ctrl + F）**を使って挿入するファイルを選択するか、挿入するフォルダやファイルをエクスプローラからドラッグしメイン画面のファイル一覧（画面右側）にドロップします。ファイルやフォルダの挿入機能に対応しているアーカイブは以下の通りです：

- .zip
- .7z
- .tar
- .tgz/.tar.gz
- .wim
- .lzh
- .arj

注:.arjアーカイブには特殊記号を含むファイルやフォルダを挿入することはできません。こうした場合はファイル名を変更する必要があり、変更方法はご自身で新しいファイル名を入力する方法とExpressZipに自動的にファイル名を選択させる方法の2つがあります。

圧縮レベル: Express

Zipは様々な圧縮レベルを使ってZipファイルを作成します。Zipファイルの圧縮率を変更するには、メニュータブで「ファイル」をクリックします。

プルダウンメニューから圧縮率を選択します。圧縮率は最速、速い、標準、小さい、最小から選択できます。

「最速」は圧縮にかかる時間は短いですが圧縮レベルは低くなります、「最小」は最も小さく圧縮されますが圧縮にかかる時間が長くなります。

既存のアーカイブを展開する

アーカイブからファイルを抽出する：

Express

Zipはファイルの展開(「展開」や「アンジップ」などとも呼ばれています)を行いzipアーカイブからファイルを取り出すことにも使えます。ツールバーの**開く**ボタンを押すか、ファイルメニューから「開く」を選択するとブラウザが開くので、ここで展開するzipファイルを選択します。

もしくはデスクトップのファイルエクスプローラを右クリックし「**Express Zip**」から**アーカイブを開く**をショートカット上で選びます。

zipファイルを開くと、Express

Zipがアーカイブの中身を表示しますので、各フォルダやファイルを確認することが出来ます。

アーカイブをコンピュータ上に展開するには**展開**ボタンをツールバーから選んで押すか、ファイルメニューから「展開」オプションを選択してください。展開作業をカスタム化するためのオプションが書かれた画面が開きます。

注意：アーカイブから特定のファイルやフォルダのみを展開する場合はエクスプローラ画面または一覧画面でファイル/フォルダを選択し「選択したアイテムのみ展開」をクリックします。

抽出オプション：

展開を開始する前にオプションのダイアログ画面が開きここで展開作業についての様々な設定を行うことができます。この画面で設定できる項目は以下のとおりです：

展開場所：

Express

Zipは選択した場所に新しいフォルダを作成し、そこにファイルを抽出します。Express

Zipは後から探しやすいするために新規フォルダにアーカイブ名を使います(例：アーカイブ名がSample.zipだった場合、新規フォルダ名はSampleになります)。

- ここに展開：展開後アーカイブの中身がコンピュータのどこに保存されるかを指定します。***参照...**ボタンを使って別の場所を選択できます。

ファイルのコンフリクト：

ファイルのコンフリクトは展開するファイルと同名のファイルが展開先にある場合に起こります。以下のいずれかの方法でコンフリクトを防ぐことができます：

- 全てのファイルを上書き：既存の同名ファイルを全て新しく展開したファイルで上書きします。

- アーカイブファイルの方が新しい場合のみ上書きする：このオプションを選択するとExpress

Zipが既存のファイルと展開を行うファイルの更新日時を比較し、展開を行うファイルの方が新しかった場合にのみ既存のファイルを上書きします。

- 上書き前に警告する：このオプションを選択すると、展開時にコンフリクトが見つかった場合はExpress

Zipがファイル名と各ファイルの更新日をお知らせし、既存のファイルを上書きまたはスキップのいずれかを選択するよう警告を発します。

- ファイルの上書きをしない：このオプションを選択すると既存のファイルに上書きを行いません。

注意：

ファイルのコンフリクトは別のフォルダ内にあるファイルには発生しません。別のフォルダに保存されているファイルは、そのフォルダ内でコンフリクトが発生しない限り、上書き等の変更は行われません。

抽出：

展開に関する詳細を設定後、**展開**ボタンをクリックし展開を開始します。展開作業はファイルのコンフリクトが生じない限り、自動的に進行します。Express Zipは進行状況画面を表示し、作業の進み具合をお知らせします。

分割Zipアーカイブの作業

分割zipを閲覧/展開：

分割zipアーカイブは複数のファイルにより構成されています。そのうちの1つのファイルにzipの拡張子が付いており、残りのファイルにはそれぞれz01、z02と番号が振られた拡張子が付いています。こうした複数パートに分かれたアーカイブの読み込みや展開を行う際は、全てのファイルが1つのフォルダに入っている必要があります。そうでない場合はエラーが発生します。zipの拡張子が付いたファイルをクリックし分割アーカイブの内容を確認します。その後は通常のzipアーカイブと同様に展開を行うことができます。

注意：Express

Zipでは分割アーカイブの編集（ファイルの追加や削除など）は出来ません。

分割zipの作成：

電子メールサーバーなどは送信できるファイルのサイズが限られている場合が多く、こうした場合、送信可能なサイズにzipを分割する必要が生じます。分割zipを作成するためにはまず、分割されていない状態のZipファイル(zip拡張子付き)を開きます。次に「分割」オプションを「ツール」から選んでクリックします。保存を行うファイルを指定し、分割サイズを設定した後、「分割zip」をクリックします。分割後のアーカイブで既存のZipファイルを上書きする場合は、デフォルトの保存ファイル名を使用し、上書きについて確認された際に「はい」をクリックしてください。

注意：

この作業では拡張子が異なる同名のファイルが複数作成されます。そのうちの1つのファイルにzipの拡張子が付き、残りのファイルにはそれぞれz01、z02と番号が振られた拡張子が付きます。これらのファイルは1つのフォルダ内にまとめておいてください。

アーカイブを電子メール送信する

アーカイブは電子メールに添付し送信することができます。他のコンピュータに大量のファイルを素早く送信できるため非常に便利です。

現在作業中のアーカイブを電子メールに添付して送信するには、**電子メール**ボタンをツールバーから選んで押すか、ツールメニューから「電子メール」オプションを選択してください。電子メールをカスタム化するためのオプションが書かれた画面が開きます。

注意：Express Zipでは**電子メール設定**をアーカイブのメール送信前に行う必要があります。まだ設定が行われていない場合は、設定に関するプロンプトが表示されます。

電子メールオプション：

アーカイブ送信前に、電子メールの各種オプションを設定する画面が開きます。添付ファイルの送信方法や、電子メールの宛先、メールの件名や本文などをここで設定・入力します。

送信先：電子メールの受信者を入力します。

メッセージの内容：

- 件名：ここに入力した文章が電子メールの件名欄に表示されます。
 - 本文：ここに入力した文章が電子メールの本文欄に表示されます。
- デフォルトとして設定する：ここにチェックを入れると、入力した情報が保存され次のアーカイブ送信時に使用されます。

電子メール設定：このボタンをクリックすると電子メール設定ダイアログが開き、メールサーバや送信先住所などの変更を行うことができます。 オプション`電子メール

分割zipの電子メール送信：

Express

Zipでは分割zipの表示や電子メール送信も可能です。分割zipの送信時は各分割パートの送信方法に対する確認ダイアログが表示されます。

- 全てのファイルをまとめて送信：このオプションを選択すると分割したZipファイルが全て1つの電子メールに添付された状態でメール送信が行われます。個別にメール送信する場合は最初と最後のメールにのみメッセージが書かれており、その他のメールはメッセージ無しで送信されますのでご注意ください。
- 各ファイルを別々の電子メールに分けて送信：このオプションを選択すると、分割された各パーツを別々のメールで送信します。件名にはパーツごとに自動的に番号が振られます。

電子メール設定

Express

Zipから直接アーカイブを電子メール送信するための電子メールサーバの各種設定をセットアップします。これらの設定は必ず電子メールオプションを使用する前にセットアップする必要があります。

送信方法

- SMTP サーバーを使って送信: SMTP(簡易メール転送プロトコル)サーバーを使って電子メール送信を行う場合はこのオプションを選択してください。SMTPサーバーは通常インターネットプロバイダまたは会社内のIT部門から提供されます。
- 直接送信(電子メールサーバーとして機能): SMTPサーバーにアクセスできない場合、またはSMTPサーバー名やパスワードが不明な場合はこのオプションを選択してください。

SMTPオプション:

- SMTP ホスト: SMTPサーバーのアドレスです(例: mail.mycompany.com)
- サーバーは認証が必要: SMTPサーバーが電子メールを送信する前に認証が必要な場合はここにチェックを入れます。殆どのSMTPサーバーは認証が必要です。
- ユーザー名: SMTPの承認名です。
- パスワード: SMTPユーザー名用のパスワードです。
- SMTP接続に失敗した場合は直接送信を試みる: ここにチェックを入れると、SMTPサーバーが使用できない場合にExpress Zip自身が電子メールサーバーとして機能することで送信を試みます。注意: SMTPの認証に失敗した場合はこの限りではありません。

メッセージ設定のオプション

電子メールのデフォルト送信方法を設定します。電子メールは送信前に各種の変更が可能ですが、オプションの設定を行っておくことで電子メールを素早く送信することができます。

- 返信用デフォルト電子メール: Express Zipでアーカイブを電子メール送信する際に使われる返信用アドレスです。通常はご自身の電子メールアドレスということになりますが、サーバーの「no reply(返信不可)」アドレスなど、好きなアドレスをお使いいただけます。
- この電子メールアドレスをデフォルトとして設定: ここにチェックを入れると、「送信先」領域が電子メール画面が開いた際に自動的に設定されます。
- 送信先メールアドレス: ここに入力したアドレスが電子メール画面が開いた際に「送信先」として自動的に設定されます。
- この件名と本文をデフォルトとして設定: ここにチェックを入れると、電子メール画面を開いた際に件名と本文が自動的に入力されます。
- 件名: 電子メールに自動挿入される件名です。
- 本文: 電子メールに自動挿入される本文です。

ソフトウェアから電子メールを送信する際の問題

電子メールが正しく送信されない場合は、「電子メール設定」(ソフトウェアの「オプション」または「環境設定」からアクセスできます)を確認してください。殆どの場合、ISP

SMTPサーバーが入力されていないか、サーバーアドレスの後にポート番号が入力されていないことが問題の原因です。

詳細については以下のページをご覧ください：<https://www.nch.com.au/kb/jp/10018.html>

Zip/7zip/Tar/Tgz/Wim/Arj/Lzhアーカイブに変換

ExpressZipは.zipや.cab、.rar、.tar、.tgz/.tar.gz、.gz、.7z、.img、.dmg、.apk、.pkpass、.bz2、.wim、.xz、.z、.zipx、.bkz、.jar、.nco、.zab、.iso、.arj、.lzhなど様々なアーカイブ形式に対応していますが、編集可能なフォーマットはZip(.zip)、Tar(.tar)、TarGz(.tar.gz/.tgz)、Wim(.wim)、Arj(.arj)、Lha(.lzh)の7つの形式のみです。その他のアーカイブをzipアーカイブに変換するにはまず変換するアーカイブを開きます。次に「ツール」メニューから「zip/7z/Tar/Tgz/Wim/Arj/Lzhアーカイブに変換」メニューボタンをクリックするか、ツールバーの「変換」ボタンをクリックします。新しいzipアーカイブの保存場所を指定し変換ボタンをクリックします。これらのアーカイブのいずれかをzipアーカイブに変換するには、まずアーカイブを開く必要があります。次に、「ツール」の下にあるメニューボタン「Zip/7z/Tar/Tgz/Wim/Arj/Lzhアーカイブに変換」をクリックするか、「変換」ツールバーを使用します。新しいzipアーカイブの保存場所を指定し変換ボタンをクリックします。

メモ：アーカイブが暗号化されている場合はパスワードの入力が必要になり、暗号化可能なファイル(zip、7z、wim、arj)に変換する場合は変換後のファイルも暗号化されます。

結合

分割Zipアーカイブとは複数の小さなファイルに分割されたファイルのことです。分割Zipファイルはそのままでは編集できません。結合ツールを使いこれらの分割されたファイルを1つのZipファイルにまとめることで編集できるようになります。結合後のアーカイブの保存場所を指定し変換ボタンをクリックします。

新しい自動展開Zipアーカイブを作成

自動展開Zipアーカイブを作成することで、アーカイブの受け取り人はアーカイブ用ユーティリティを使わずに、どこでもアーカイブの展開を行うことができるようになります。

注意：

元のアーカイブの中身に変更を加えた場合は、自動展開アーカイブを再度作成する必要があります。

自動展開アーカイブを作成する際は、Windows用またはMac用のいずれかを選択する必要があります。WindowsとMacの両方で使える自動展開アーカイブを作ることはできません(必要に応じてそれぞれ1つずつ作成する必要があります)。

クイックZipメニュー

「クイックzip」メニューを使うと共有フォルダの中身を素早くzip圧縮することができます。クイックzip(ツールメニュー内)では以下のような選択が可能です：

- 文書：コンピュータの文書フォルダの中身が全て追加されます。
- 音楽：コンピュータの音声フォルダの中身が全て追加されます。
- 画像：コンピュータの画像フォルダの中身が全て追加されます。
- 動画：コンピュータの動画フォルダの中身が全て追加されます。注意：
このメニューオプションはVista以降のバージョンでのみお使いいただけます。

注意：

こうしたフォルダの実際のフォルダ名や保存場所はお使いのOSに応じてコンピュータごとに異なります。例えばWindows XPの場合文書フォルダはC:\Documents and Settings\Admin\Admin's

Documentsにあります。しかしながらExpress

Zipはこうしたフォルダを自動検出することが出来ます。Express

Zipはフォルダの中身を選別せず、選択したフォルダの中身を全てアーカイブに追加します(例：画像フォルダ内に画像以外のファイルが入っていた場合はこれらも全て追加されます)。

暗号化

アーカイブの暗号化：

暗号化を行うとzipファイルにパスワードが設定され、パスワードを入力しない限りファイルの展開が出来なくなります。複数のユーザーが使用するコンピュータに大事なファイルを保存する場合や、セキュリティで保護されていないネットワーク上でアーカイブを送信する場合、またアーカイブをDVDやUSBドライブなどの盗難に遭いやすいメディアに保存する場合などは暗号化が非常に役立ちます。

アーカイブを暗号化するには、「暗号化」ボタンをツールバーから選んで押すか、ツールメニューから「暗号化」オプションを選択してください。暗号化マネージャが開き、以下の3つのオプションが提示されます：

- このアーカイブをパスワードで保護する: zipファイルにまだ暗号化が行われていない場合はこのオプションを選びます。「新しいパスワード」の欄にパスワードを入力し、「新しいパスワードを再入力」の欄に確認のため同じパスワードを再入力します。
- パスワードを変更する: このオプションを使いパスワードの変更を行います。「現在のパスワード」の欄に現在設定されているパスワードを入力し、「新しいパスワード」の欄に変更後の新しいパスワードを入力します。
- パスワードを解除する: このオプションを使い、アーカイブからパスワードと暗号化を解除します。「現在のパスワード」の欄にパスワードを入力します。

最新版のExpressZipでは以下のタイプのアーカイブの暗号化と解読が可能です：

- .zip
- .7z
- .arj
- .wim

メモ: WinRARがユーザーのパソコンにインストールされている場合、ExpressZipはrarファイルの暗号化/復号化を許可します。

注: パスワードの最大文字数は256文字です

暗号化されたアーカイブを開く：

フォーマットにもよりますが、暗号化されたアーカイブの殆どはパスワード無しで開いて閲覧することができます。しかしながら、暗号化されたアーカイブ内のファイルを展開するまたは開く際にはパスワードが必要になります。アーカイブ用のパスワードは復元できないため、パスワードは絶対に失くさないようにしてください。

ファイル/フォルダ

ファイル/フォルダをアーカイブに挿入する

ファイルやフォルダの挿入はツールバーでファイル/フォルダボタンをクリックするか、メイン画面の一覧にファイル/フォルダをドラッグアンドドロップする形で行います。編集が可能な形式は以下の7つです：zip(.zip)、7zip(.7z)、Tar(.tar)、TarGz(.tar.gz)、.tgz)、Wim(.wim)、Arj(.arj)、Lha(.lzh)

制限事項：

ファイルやフォルダの挿入にはいくつかの制限があります

- 以下の3つの形式は空フォルダの挿入ができません：.lzh、.arj、.7z
- .arj形式は特殊記号/文字を含むファイルやフォルダに対応していません。こうしたファイルが検出された場合ExpressZipは自動的にファイル名をRenamed_File.ext /Renamed_Folderに変更します

ファイル/フォルダ

アーカイブするファイルやフォルダを削除する

ファイルやフォルダの削除は一覧（画面右側）またはファイルツリー（同左側）のどちらでも行うことができます。編集できるフォーマットは以下の7種類のみです：zip(.zip)、7zip(.7z)、Tar(.tar)、TarGz(.tar.gz/.tgz)、Wim(.wim)、Arj(.arj)、Lha(.lzh)
注：.arjや.lzh内の全てのファイルやフォルダを削除するとアーカイブが無効になりアーカイブ自体が削除されます。

PAR2ツールを使う

ダウンロードや再作成によりアーカイブが破損する場合があります。また、分割アーカイブの一部が欠損する場合があります。アーカイブが破損しているか分割ファイルの一部が欠損しているためExpressZipでアーカイブを開けない場合、PAR2ファイルがある場合はファイルの修復を試みることができます。

PAR2はPAR2ファイルを作成または使用することでデータファイルの破損の検証と修復を行うツールです。分割アーカイブを含むどのようなファイルにも使うことができます。PAR2を使う際には以下の3つのオプションから選択できます

- このアーカイブ/分割アーカイブ用のPAR2ファイルを作成 PAR2修復ファイルの作成にはこのオプションを選択します。大きなアーカイブのPAR2ファイルを作成した後、分割オプションを使ってこのアーカイブを分割した場合でも、この.par2ファイルを使って分割ファイルの修復を行うことができます。PAR2ファイルの作成には割合の冗長性とブロック数の2つのパラメータがあります。デフォルトでは冗長性%は5%に設定されており、ブロック数は必要なブロック数をツールが算出します。いずれのパラメータの値もダイアログ内のプルダウンメニューから「カスタム」を選択することで手動入力することができます。
- アーカイブとアーカイブのPAR2ファイルに修復が必要かつ可能かどうかを確認：
- 破損したアーカイブを修復：このオプションを使って、破損したアーカイブまたは分割アーカイブの修復を行います。分割アーカイブには欠損しているパーツが再作成されます。

メモ： ファイルの作成、検証、修復にはチェックサムの計算など複雑な処理が必要なため作業が完了するまでには少し時間がかかります。

メモ： 検証と修復オプションを使用する際は、.par2ファイルは破損したアーカイブと同じベースファイル名で同じディレクトリにある必要があります。例：

- アーカイブ名：C:\Users\Admin\Desktop\MyFiles\Par2Split.zip
- PAR2名：C:\Users\Admin\Desktop\MyFiles\Par2Split.zip.par2

Prism/Pixillion/Switchを使って圧縮

ExpressZipは動画や画像、音声など様々なファイルの圧縮が可能ですが、NCHソフトウェアではそれぞれのタイプのファイルに特化した圧縮ソフトもご用意致しております。これらのソフトを使うにはExpressZipの右クリックオプションをお使いください。

- Prismを使って動画ファイルを圧縮
- Pixillionを使って画像ファイルを圧縮
- Switchを使って音声ファイルを圧縮

これらのいずれかのプログラムを選択すると、ExpressZipから動画や画像、音声ファイルがデフォルト指定されたフォルダに抽出され、PrismやPixillion、Switchが開くか、まだインストールされていない場合はインストールが行われます。

ショートカットキー一覧

Express Zipでは以下のショートカットキーをお使いいただけます

Ctrl + F フォルダを追加する

Ctrl + N 新規zipアーカイブ

Ctrl + T ファイルを追加する

Ctrl + L アーカイブを開く

Ctrl + E 全て抽出

Ctrl + Shift + E 選択されたもののみ抽出

Ctrl + A 全てを選択

Ctrl + C コピー

Ctrl + V 貼り付け

Delete 選択した項目を削除する

F2 選択した項目の名前を変更

Alt + F2 アーカイブの名前を変更

Ctrl + O オプション

Alt 全てのメニューを表示

F1 ヘルプ 文書を開く

Alt+F4 Express Zipを終了する

オプション全般

このページからExpress

Zipの作業に影響する各種の設定を行うことができます。メイン画面のツールバーでオプションをクリックし、「全般」タブを選択して各種設定を表示します。

デフォルトの圧縮設定:

- デフォルトzip名: 新規zipファイルを作成する際に使用する名前です。
- デフォルトの保存場所: 新しいzipファイルが保存される場所です。*参照ボタンをクリックし保存場所を変更することができます。
- 圧縮レベル: プルダウンメニューから圧縮率を選択します。圧縮率は最速、速い、標準、小さい、最小から選択でき、圧縮の程度により圧縮にかかる時間が変化します。例えば「最速」は圧縮にかかる時間は短いですが圧縮レベルは低くなります、「最小」は最も小さく圧縮されますが圧縮にかかる時間が長くなります。

抽出先:

- アーカイブファイルの場所を一致: このオプションを選択するとExpress Zipはアーカイブと同じディレクトリにファイルを抽出します。
- カスタム: このオプションを選択すると、抽出する場所をカスタマイズできます。

クイックZip:

- クイックzip使用中はこのメッセージを表示しない: このオプションにチェックを入れると、クイックZipで選択したフォルダのzip方法を以下の2つから選択します。チェックが入っていない場合は、選択したフォルダを現在のアーカイブに追加するか、新しいzipファイルを作成するかを確認するメッセージが表示されます。
- クイックzipを使う場合は常に新しいzipファイルを作成する: このオプションを選ぶと、クイックzipのフォルダが選択された際は常に新しいzipファイルが作成されます。
- 現在のzipファイルにクイックzipを追加する: このオプションを選ぶと、クイックzipから選択したフォルダを現在のzipファイルに追加します。

無視するファイル

- アーカイブの作成時は非表示のファイルは無視する: このオプションにチェックを入れると非表示扱いになっているファイルやフォルダはExpressZipの一覧に表示されず、アーカイブも行われません
- 以下の拡張子のファイルは無視する: このオプションにチェックを入れると特定の拡張子のファイルはExpressZipの一覧に表示されず、アーカイブ作業も行われません。最新版では.dbファイルのみが無視されます。

オプション~ 対応ファイル

Express

Zip様々な種類のアーカイブ (.zip、.rar、.cab、.dmg、.arj、.lzh、.vmdk、.apk、.bz2、.cpio、.deb、.tar、.tgz、.txz、

.gz、.gzip、.7z、.iso、.img、.pkpass、.qcow2、.rpm、.wim、.vhd、.vmdk、.xar、.xz、.z、.zipx、.bkz、.jar、.zab、および.nco) に対応しており、これらのファイル拡張子のファイルに関連付けを行うことができます。ExpressZipに関連付けされたファイルは、ファイルを開く際に自動的にExpressZipを使って開かれるようになります。

アーカイブタイプのグループボックス内にExpress

Zipが対応しているタイプの一覧があります。Express

Zipに関連付けを行うタイプにチェックを入れてください。

オプション~その他

- ExpressZipを実行中は常「開く」または「作成」のいずれかを選択するプロンプトを表示するここにチェックを入れると、既存のアーカイブを開くか新規アーカイブを作成するかをExpress Zip起動時に確認します。チェックが入っていない場合は起動後は新規アーカイブが作成されます。
- zip展開後右クリックメニューを使ってフォルダのブラウザを開くここにチェックを入れると、ファイルの展開が行われた場所をエクスプローラ画面に表示します。
- 展開完了時にメッセージを表示する:ここにチェックを入れると展開完了後に展開されたファイルが入ったフォルダを開いてお知らせします。
- 動画ファイルを圧縮する際はPrism動画ファイル圧縮ソフトを使うかどうか確認する:ここにチェックを入れた状態で圧縮可能な動画ファイルが追加されると、Prismを使って動画ファイルの変換を行うかどうかの確認が表示されます。
- 音声ファイルを圧縮する際はSwitch音声ファイル圧縮ソフトを使うかどうか確認する:ここにチェックを入れた状態で圧縮可能な音声ファイルが追加されると、Switchを使って音声ファイルの変換を行うかどうかの確認が表示されます。
- 画像ファイルを圧縮する際はPixillion画像ファイル圧縮ソフトを使うかどうか確認する:ここにチェックを入れた状態で圧縮可能な画像ファイルが追加されると、Pixillionを使って画像ファイルの変換を行うかどうかの確認が表示されます。
- CDAファイルをアーカイブに追加する前にファイルのリッピングを行うようメッセージを表示する:ここにチェックが入った状態でCDAファイルが追加されると、ファイルをアーカイブに追加する前にExpress Ripを使ってトラックを別のフォーマットにリッピングを行うかどうかの確認が表示されます。
- 起動時に開始画面のダイアログを表示:ここにチェックが入っている場合、ソフトの起動時にファイルの圧縮や解凍、変換、暗号化、ヘルプページの表示、分割などのオプションへのリンクが搭載されたダイアログが開きます。

右クリックによるショートカットメニュー:

Express

Zipの右クリック設定を変更する場合は管理者としてログインしている必要があります。

Express

Zipをファイルエクスプローラの右クリックによるショートカットメニューに加える:ここにチェックを入れるとファイルエクスプローラのショートカットメニューを使ってExpress

Zipにアクセスすることができます。ファイルやフォルダを右クリックするとExpress

Zipを使ってファイルやフォルダをzip圧縮するオプションがエクスプローラのショートカットメニューに表示されます。同様に、アーカイブファイルを右クリックするとExpress

Zipを使ってアーカイブを開くオプションが表示されます(複数のファイルを選択した場合は親フォルダ名が使われます)。

- Zipファイルを元のフォルダやファイルの保存場所に保存する: このオプションにチェックを入れると、元のフォルダやファイルと同じ場所(フォルダ)に新しいzipファイルが保存されます。チェックが入っていない場合、新しいzipファイルはデフォルトの保存場所に保存されます。

コマンドラインオプション

Express

Zipはコマンドラインでの操作も可能です。どのオプションも使用および再使用が可能です。コマンドラインオプションを使用中はプロンプトが表示されません。使用できるオプションは以下のとおりです：

zip：ファイルやフォルダをzipでアーカイブする。

- -a "アーカイブパス"：アーカイブが保存される場所。
- -f "ファイル/フォルダ"：アーカイブに追加するフォルダやファイルの保存場所。複数ある場合は引用符で囲み(" ")スペースで分ける。
- -o 既存のアーカイブを上書きする。
- -p "パスワード"：このパスワードを使いアーカイブを暗号化する。
- -cx, -cf, -cn, -cs, -ct 圧縮レベル：
左から順に、最速、速い、標準、小さい、最小。

例："C:\Program Files\NCH Software\expresszip.exe" zip -a
"C:\MyDocuments\archive.zip" -f "C:\MyDocuments\Music"
"C:\MyDocuments\Pictures\sample.jpg" -cn -o

extract：Express Zipで対応しているアーカイブからファイルを展開する。

- -a "アーカイブパス"：展開したファイルが保存される場所。
- -d "出力ディレクトリ"：ファイルの展開先ディレクトリ。
- -o 展開時に既存のファイルを上書きする。
- -p "パスワード"：アーカイブのパスワード(設定されている場合)
- -m アーカイブ名を使い出力ディレクトリに新規フォルダを作成する。

例："C:\Program Files\NCH Software\expresszip.exe" extract -a
"C:\MyDocuments\archive.zip" -d "C:\MyDocuments" -m

convert：Express Zipで対応しているアーカイブをzipアーカイブに変換する。

- -a "アーカイブパス"：変換を行うアーカイブの保存場所。
- -d "出力ディレクトリ"：アーカイブの変換を保存する出力ディレクトリ(変換を行うアーカイブと同じファイル名に.zipの拡張子が付く)。
- -o 既存のアーカイブを上書きする。
- -p "パスワード"：アーカイブのパスワード(設定されている場合)

例："C:\Program Files\NCH Software\expresszip.exe" convert -a
"C:\MyDocuments\archive.rar" -d "C:\MyDocuments"

encrypt：zipアーカイブを暗号化する。

- -a "アーカイブパス"暗号化を行うアーカイブの保存場所。
- -p "パスワード"アーカイブに設定されるパスワード。

例："C:\Program Files\NCH Software\expresszip.exe" encrypt -a
"C:\MyDocuments\archive.zip" -p "myPassword"

decrypt：zipアーカイブの暗号化を解除する。

- -a "アーカイブパス"暗号化の解除を行うアーカイブの保存場所。
- -p "パスワード"暗号化されたアーカイブのパスワード。

例："C:\Program Files\NCH Software\expresszip.exe" decrypt -a
"C:\MyDocuments\archive.zip" -p "archivePassword"

その他のソフトウェア

動画や音声、画像など、サイズが大きく複雑なファイルの圧縮を行う場合、アーカイブに追加する前にファイルを最適な形式に変換する必要がある場合があります。以下のソフトウェアをExpress

Zipと一緒に使うことで、画質や音質を落とすことなく最適な圧縮を行うことができます。

Prism動画ファイル変換ソフト

- 動画ファイルの変換または圧縮をダウンロードから数分で完了
- ユニバーサルな動画ファイル変換ソフトで全ての一般的なファイル形式に対応
- 一括変換機能で数千個のファイルを1度に変換
- [ここからPrismをダウンロード](#)：

Doxillion文書ファイル変換ソフト：

- ほぼ全ての文書ファイルフォーマットを変換
- ワンクリックで簡単に素早く文書ファイルを変換
- 数千個の文書ファイルも一度にまとめて変換
- [Doxillionをダウンロード](#)

Pixillion画像ファイル変換ソフト

- 動画ファイルの変換を様々な画像ファイル形式間で行います
- 画像の回転、サイズ変更、画質の調整や文字/透かしの挿入など様々な機能を搭載
- 一括変換機能で数千個のファイルを1度に変換
- [ここからPixillionをダウンロード](#)：

Switch音声ファイル変換ソフト：

- ユニバーサルな音声ファイル変換ソフトで全ての一般的なファイル形式に対応
- 音声ファイルの変換や圧縮をダウンロードから数分で完了
- 一括変換機能で数千個のファイルを1度に変換
- 音声をビデオを含む各メディアから展開
- [ここからSwitchをダウンロード](#)：

Express Rip CDリッピングソフト

- 業界最速のCDリッピングソフト
- 専用の最適化テクノロジーを使って、お気に入りの音楽をwavやmp3に簡単に素早くリッピング。
- オンラインのデータベースにアクセスし自動的に曲やアルバムの情報を入手
- 音声はWma、m4a、aac、aiffなどを含む様々なフォーマットから展開が可能
- [ここからExpress Ripをダウンロード](#)：

NCH ソフトウェア総合パッケージ

この画面から弊社が開発しているその他の便利なソフトを簡単に探すことができます。

音声や動画などカテゴリ別の一覧から必要なソフトをお選びください。必要なソフトが見つかったらボタンをクリックするとお試し版がインストールされ、無料でソフトをお試しいただけます。既にインストール済みのソフトのボタンは「実行」ボタンになっており、このボタンを押すとソフトが起動します。

カテゴリ別一覧の下の欄にはソフトの機能の一覧があります。例えば「動画を録画する」という機能をクリックすると、動画の録画用ソフトがインストールされます。

検索

検索エリアに必要なソフトに関するキーワードを入力して「検索」ボタンをクリックすると、キーワードにマッチした弊社サイトの検索結果が表示されます。

その他のNCHソフトウェア製品を見る

弊社の全製品カタログが表示され更に多くのソフトをお探しいただけます。

ニュースレターを購読

新製品のリリースやソフトのアップデートなどの最新情報をいち早くお届けするニュースレターを購読いただけます。購読の停止はいつでも簡単に行っていただけます。

最新の特別購入価格を参照する

各製品の最新の割引価格をご覧ください。

ソフトウェアライセンス規約

弊社はユーザーの皆様のお役に立つソフトウェアの提供を目的と致しております。弊社製品は利用規約に同意いただくことでお使いいただけます。

この利用規約は当社の責任を制限し仲裁合意および裁判管轄合意に準拠します。以下の条項をお読みいただきお客様の権利についてご理解ください。本規約は全て英文を正本としますので予めご了承ください。

1.

このソフトウェアおよびソフトウェアと共に配布される音声およびビジュアル作品の著作権はNCHソフトウェアおよび製品情報画面に記載されている他の著作権者に帰属します。全ての権利は著作権者が保有します。このソフトウェアおよびこのソフトウェアに同梱またはこのソフトウェアによりオンデマンドでインストールされるソフトウェア（ショートカットやスタートメニューフォルダを含む）のインストールは以下の規約に則りライセンスされます。こうした著作権はユーザーが作成した作品には適用されません。

2.

このソフトウェアをインストール、使用、または配布することで、ユーザーはユーザー自身およびユーザーの雇用主または当事者に代わってこの規約に同意します。規約に同意しない場合はソフトウェアの使用、複製、送信、配布およびインストールを行うことができません。返金が必要な場合はご購入後14日以内に商品をご購入いただいた場所にご返品ください。

3.

このソフトウェアおよびソフトウェアに付随するファイル、データ、その他素材は全て「現状のまま」で提供され、法により定められていない限りは、明示または黙示を問わずいかなる保証も行われません。重大な影響を与える件にこのソフトウェアを使用する場合は、使用前に十分なテストを行い、使用に伴うリスクは全てユーザーが負うものとします。

4. NCHソフトウェアはこのソフトウェアの使用により発生したいかなる損害

（特別損害、付随的損害、派生的損害を含む）に対しても責任を負わず、当社製品のご購入時にお支払いいただいた金額に対する返金以外への対応は一切いたしかねます

。

5.

このソフトウェアの誤使用が人体に危害を加える可能性がある場合、また人命にかかわる場合はこのソフトウェアを使用しないでください。コンピュータを定期的にバックアップしない場合、またはコンピュータにウィルス対策ソフトやファイアウォールがインストールされていない場合、重要なデータが暗号化されずにコンピュータに保存されている場合はこのソフトウェアを使用しないでください。こうした方法での使用によるいかなるクレームに対してもNCHソフトウェアを免責することに同意する必要があります。

6.

何ら手を加えられていない状態のソフトウェアのインストールを複製および配布することはできますが、弊社ソフトウェアの登録コードの配布は、いかなる状況においても弊社の書面による許可なく行うことはできません。許可されていないコードの使用が行われた場合は、コードが使用された全てのロケーションに対して製品の全額をお支払いいただきます。

7. ソフトウェアによって限られた状況下でのみ自動的に匿名で収集された使用統計データの使用は当社のプライバシー規約に従って行われます。

8. 準拠法と管轄ユーザーがアメリカ合衆国居住者である場合はアメリカ法人のNCH Software, Inc.が当事者となり、この規約に関して紛争が生じた場合、この利用契約はコロラド州の法律を準拠法とし、同州の裁判所を管轄とします。ユーザーがアメリカ合衆国居住者以外である場合はオーストラリア法人のNCH Software Pty Ltd.が当事者となり、この規約に関して紛争が生じた場合、オーストラリア首都特別区の法律を準拠法とし、同区の裁判所を管轄とします。上記で定められた裁判所は、当事者間の紛争に関し、いかなる性質の紛争であっても、継続的かつ専属的な管轄権を有します。

9. アメリカ合衆国居住者のみ：仲裁合意およびクラスアクション（集団訴訟）の権利放棄：ユーザーがアメリカ合衆国に居住する場合、当事者間の全てのクレームおよび紛争は英語版の規約（以下のページよりご覧ください：

<https://www.nch.com.au/general/legal.html>）を基に仲裁を行うものとし、この規約をお読みいただきご理解ください。お客様の権利について書かれています。この規約ではユーザーおよびNCHソフトウェアのいずれも、個人の権利能力のみでの提訴が可能であり、原告やクラスメンバーなどいかなるクラスアクションや集団訴訟などによる提訴もできないものとしています。

Windows

XPおよびVistaでのGoogle認証プロセス

Windows XPやWindows

Vistaで実行する場合、GoogleドライブやYouTubeにアップロードする権限をExpress Zipに付与するには、追加の手順が必要です。

1. **ログイン...** ボタンをGoogleの **認証**ダイアログでクリックします。
2. ウェブサイトが開くので必要に応じてGoogleアカウントにログインします。
3. 要求された機能にExpress Zipがアクセスすることを承認します。
4. **認証コード**がGoogleから発行されるので、これをコピーしExpressZipの **認証完了**
5. **完了**ボタンをクリックしてログイン作業を完了します。